

2019年8月22日

各位

大同生命保険株式会社
代表取締役社長 工藤 稔



第19回全国障害者スポーツ大会

「いきいき茨城ゆめ大会」に特別協賛

<大同生命の社会貢献活動>

T&D保険グループの大同生命保険株式会社（社長：工藤 稔）は、本年10月12日（土）～14日（月）に茨城県で開催される第19回全国障害者スポーツ大会「いきいき茨城ゆめ大会」に特別協賛します。

当社は創業90周年（1992年）を機に、同大会の前身である全国知的障害者スポーツ大会（ゆうあいピック）の第1回東京大会から、四半世紀以上にわたり特別協賛を継続しています。また、これまでに、のべ1万1千人を超える役職員等がボランティアとして大会に参加するなど、全社を挙げて「障がい者スポーツの支援」に取り組んでまいりました。

本日、午前11時より、茨城県庁（水戸市）にて特別協賛金の目録贈呈式を行います。大会の開催期間中は、当社の茨城県内支社はもとより、東京本社など広く関東圏内の役職員等がボランティアとして参加し、大会の盛り上げに協力してまいります。

<協賛・協力内容>

- 大会への特別協賛金として1億円を贈呈。
- 当社およびグループ会社・提携団体の役職員等、のべ約500名（予定）が大会の盛り上げに協力。
 - ・笠松運動公園陸上競技場（ひたちなか市）に設置する「大同生命ブース」の運営ボランティアとして、全国から集まった選手や応援サポートの皆さんと、ゲームやイベントを通じて交流できる「ふれあいの場」を提供。
 - ・式典の観覧や競技の観戦を通じて、選手の皆さんを応援。

いきいき茨城ゆめ大会 2019

第19回全国障害者スポーツ大会 翔べ 羽ばたけ そして未来へ

【参考1】全国障害者スポーツ大会とは



茨城大会マスコットキャラクター
「いばラッキー」

- ・障がいのある選手が競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加の推進に寄与することを目的とした国内最大の障がい者スポーツの祭典であり、日本障がい者スポーツ協会、文部科学省、開催都道府県などが主催しています。
- ・2019年度は、茨城県で10月12日（土）～14日（月）の3日間、「翔べ 羽ばたけ そして未来へ」を大会スローガンに、「いきいき茨城ゆめ大会」の愛称のもとで開催されます。

【参考2】ボランティア参加実績 → のべ11,020名（1992年～2018年）

| | | 開催年 | 開催地 | ボランティア参加人数 |
|---------------------------|------|-------|--------|-----------------|
| 全国的障害者スポーツ大会 (ゆうあいピック) | 第1回 | 1992年 | 東京 | 300名 |
| | 第2回 | 1993年 | 熊本 | 304名 |
| | 第3回 | 1994年 | 群馬 | 504名 |
| | 第4回 | 1995年 | 兵庫 | 阪神・淡路大震災のため大会中止 |
| | 第5回 | 1996年 | 北海道 | 448名 |
| | 第6回 | 1997年 | 愛知・名古屋 | 950名 |
| | 第7回 | 1998年 | 茨城 | 900名 |
| | 第8回 | 1999年 | 島根 | 337名 |
| | 第9回 | 2000年 | 岐阜 | 1,043名 |
| 全国障害者スポーツ大会 | 第1回 | 2001年 | 宮城 | 430名 |
| | 第2回 | 2002年 | 高知 | 291名 |
| | 第3回 | 2003年 | 静岡 | 413名 |
| | 第4回 | 2004年 | 埼玉 | 292名 |
| | 第5回 | 2005年 | 岡山 | 286名 |
| | 第6回 | 2006年 | 兵庫 | 317名 |
| | 第7回 | 2007年 | 秋田 | 200名 |
| | 第8回 | 2008年 | 大分 | 185名 |
| | 第9回 | 2009年 | 新潟 | 204名 |
| | 第10回 | 2010年 | 千葉 | 320名 |
| | 第11回 | 2011年 | 山口 | 191名 |
| | 第12回 | 2012年 | 岐阜 | 206名 |
| | 第13回 | 2013年 | 東京 | 1,001名 |
| | 第14回 | 2014年 | 長崎 | 238名 |
| | 第15回 | 2015年 | 和歌山 | 655名 |
| | 第16回 | 2016年 | 岩手 | 314名 |
| | 第17回 | 2017年 | 愛媛 | 333名 |
| | 第18回 | 2018年 | 福井 | 358名 |
| | 第19回 | 2019年 | 茨城 | 約500名（予定） |

【参考3】 その他「障がい者スポーツの支援」に向けた取組み

1. オフィシャルパートナーとしての活動

- ・ 2015年1月に公益財団法人日本障がい者スポーツ協会と、また2018年1月には一般社団法人日本身体障害者アーチェリー連盟とそれぞれオフィシャルパートナー契約を締結しました。
以後、両団体が主催する競技大会への応援観戦や大会運営へのボランティア参加を通じて、両団体の取組む活動を積極的にサポートしています。



2. 劇団四季ミュージカル『アラジン』への招待

- ・ 特別協賛している劇団四季の大ヒットミュージカル『アラジン』（2015年5月開幕）に、パラアスリートをはじめ、障がいのある方とご家族をご招待する活動を行っています。



3. 従業員パラアスリートの活動支援

- ・ 2017年2月、世界トップクラスのパラアスリートである永野美穂（愛媛県出身）が入社しました。
これまで国内外のパラアーチェリー大会で数々の実績を残してきた永野は、今後さらなる活躍が期待される将来有望なアスリートです。
従業員アスリートの競技活動を全面的にバックアップすることで、「障がい者スポーツのさらなる普及・発展」に努めるとともに、全社をあげて「共に働く仲間」の活躍を応援します。



～ これまでの取組みが評価されました！！ ～

- 全国障害者スポーツ大会への特別協賛をはじめ、これまでの取組みが評価され、当社は2017年度に文部科学省にて創設された『「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰』を受賞いたしました。
- また、東京都が、社員のスポーツ活動を推進する取組みやスポーツ分野における社会貢献活動を実施している企業等を「東京都スポーツ推進企業」として認定する制度に、当社は制度が創設された2015年度から毎年認定されています。なかでも2015年度と2017年度は、認定企業のうち、特に社会的な影響や波及効果の大きい取組みをしている企業として、『東京都スポーツ推進モデル企業』に選定されました。